

令和6年度 ちゅうちなー安全なまちづくり推進会議 議事概要

- 1 開催日時 令和6年5月29日 午後2時30分から午後4時まで
- 2 開催場所 県庁4階 講堂
- 3 出席者 別紙のとおり
- 4 議 事

- (1) 沖縄県内の犯罪情勢について
 - ア 事務局（県警生活安全企画課）が資料1に基づき説明を行った。
 - イ 出席者からの質問や意見は特になし。
- (2) ちゅうちなー安全なまちづくり推進事業「令和5年度事業実施報告」及び「令和6年度事業計画（案）」について
 - ア 事務局が各専門部会ごとに資料2-①、2-②に基づき説明を行った。
 - イ 出席者から次のような発言があった。
 - (ア) 次の4点を要望する
 - a 薬物乱用防止特別啓発事業について
合法ドラッグをグレーゾーンにしておくのではなく、県独自の規制で適切な管理ができないか。もしくは様々な法律等で誤認を招く表示を規制できないだろうか。
 - b 公共施設の防犯・安全点検について
国際通りの歩道で大きな看板が不法占用しており住民から苦情が多い。道路管理者は法に基づく規制の権限の行使をしてもらいたい。
 - c 県有建築物の防犯カメラ設置促進事業について
モノレール駅の駐輪場で窃盗が発生しており、市民から防犯カメラ設置の要望がある。市道にある駐輪場での設置については市の道路管理者は難色を示しているが、まずは県管理の道路にある駐輪場について防犯カメラを設置してもらいたい。そうすることで市道・国道にも設置が広がることを期待。
 - d 犯罪被害者支援に関する市町村「出前講座」及び「法律相談」の開催について（沖縄被害者支援ゆいセンターへの支援について）
沖縄被害者支援ゆいセンターは国・県・市町村が行うべき13施策のうち幾つかを替わりに行っている。県は委託料を支出しているが、市は何ら助成・負担を行っていない。市長会は審査の結果、負担を認めなかった。町村会は負担金を支出していると聞いている。県または推進会議名で市長会あてにゆいセンターへの負担金拠出の依頼文をだせないか。

<事務局の回答>

- a 事業を実施している薬務生活衛生課に情報を共有する。
 - b 南部土木事務所や県の土木建築部等に情報提供し取組を進めていきたい。
 - c 防犯カメラの設置は各施設管理者の判断となるため、南部土木事務所に情報提供しモノレール駐輪場での設置を呼びかけたい。
 - d 県の関係機関と協議して取り組んでいけるよう検討していきたい。
- (イ) ゆいセンターは委託が42%で残り58%は寄付等でまかなっている。以前は市町村の負担金があったが、市長会が出してくれないので困っている。しかし、相談は市民の方が多い。
事務局に対しての質問は、「子ども・女性等安全・安心見守り事業」の具体的な取組内容を教えてほしい。

<事務局回答>

令和4年度より、事業を行う地域団体から防犯につながる活動の企画提案をしてもらい実施している。(フラワーポット事業やソーラーライト設置について説明を行った)

- (ウ) 資料に事業推進の課題として記載してある「各地域団体の自治会等の理解を得ながら事業を継続していく」とあるが、その課題解決策について

<事務局回答>

コロナを契機に地域活動が停滞し犯罪は増加している。青年会等を取り組みながら活性化をはかっていきたい。

- (エ) サイバー犯罪防止において国境の壁がある。認識について聞きたい。

<事務局回答>

警察庁でサイバー局が令和4年に作られ、サイバー犯罪については(県ではなく)国による捜査ができるようになった。アジアでは日本がリーダーシップを発揮しながら捜査を行っており、日本のサイバー捜査は先端の部類にある。

- (オ) 報告書の記載方法について、「予算額」は「実施額」に訂正した方がいい。また、項目が多い。実施できる項目に絞ったらどうか。あるいは一覧表にして実施したのは「○」、計画がないのは「×」、継続は「△」、実施可能な項目だけ挙げればよいのでは。

<事務局回答>

前年度実績分については予算額ではなく決算額なので、次回およびホームページ掲載時には修正したい。項目が多いことについては、ちゅらさん運動の全体像を知ってもらいたい趣旨であるが、会議の進行を考慮のうえ検討したい。

(補足説明：事業報告は実績の報告であり、すべて実施した事業を記載している。また、事業計画案もすべて実施予定。)

- (カ) 一番の問題になっているのは、「人」と「予算」だと思う。予算と動ける人がいることが肝心。一覧表で「人員の問題」「予算の問題」とあれば協議しやすい。

<事務局回答>

事業を推進するには予算が必要で、例えば地域団体が事業を行うにもグッズを購入する予算が無いと対応できない。事務局で次年度の計画等、今後に向けて取り組んでいきたい。

ウ ちゅらうちなー安全なまちづくり推進事業「令和5年度事業実施報告」及び「令和6年度事業計画(案)」については、全員一致で承認された。

- (3) 意見交換について

ア 出席者から次のような発言があった。

- (ア) 県警から犯罪情勢についての説明があったが、薬物に関しても沖縄は全国ワーストであり、そのデータを報告して頂いてみんなで阻止する対策を議論できたらなと思う。

<事務局回答>

今回は薬物犯罪に関するデータを持参していないが、次回からは薬物や少年の事件に関するデータを用意して会議に臨みたい。

- (イ) 4～5年前に国の予算で防犯カメラを設置した。各地区のまちづくり推進協議会や各市町村と意見交換し、防犯カメラのありかたの勉強や設置促進を検討して頂けたらと思う。

令和6年6月28日

沖縄県生活福祉部 生活安全安心課

令和6年度ちゅらうちなー安全なまちづくり推進会議 出席者名簿

区分	団体・役職名	出席者役職	出席者氏名
副会長	1 沖縄県教育長	沖縄県教育長	半嶺 満
	2 社会福祉法人沖縄県社会福祉協議会会長	社会福祉法人沖縄県社会福祉協議会会長	湧川 昌秀
会員	3 沖縄県生活福祉部長	沖縄県生活福祉部長	北島 智子
	4 沖縄県警察本部生活安全部長	沖縄県警察本部生活安全部長	島尻 哲也
	5 一般社団法人沖縄県経営者協会会長	一般社団法人沖縄県経営者協会専務理事	田端 一雄
	6 那覇市自治会長会連合会会長	那覇市自治会長会連合会会長	田島 繁
	7 ちゅらまちづくり専門部会長	ちゅらまちづくり専門部会長	長山 格
	8 ちゅらゆいづくり専門部会長	ちゅらゆいづくり専門部会長	泊 真児
	9 ちゅらひとつづくり専門部会長	ちゅらひとつづくり専門部会長	田畑 静夫
	10 沖縄弁護士会会長	沖縄弁護士会理事	高田 慎介
	11 株式会社ビジネスランド代表取締役社長	株式会社ビジネスランド代表取締役社長	湊辺 美紀
	12 NHK沖縄放送局局長	NHK沖縄放送局局長	赤岩 勇二
	13 株式会社沖縄タイムス社代表取締役社長	株式会社沖縄タイムス社編集局長	宮城 栄作
	14 琉球放送株式会社代表取締役社長	琉球放送株式会社執行役員	小濱 裕
	15 一般社団法人沖縄県女性連合会会長	一般社団法人沖縄県女性連合会会長	與那覇 信子
	16 公益財団法人おきなわ女性財団理事長	公益財団法人おきなわ女性財団理事長	大城 貴代子
	17 公益社団法人沖縄県青少年育成県民会議会長	公益社団法人沖縄県青少年育成県民会議会長	山入端 津由
	18 一般社団法人沖縄県子ども会育成連絡協議会会長	一般社団法人沖縄県子ども会育成連絡協議会会長	上原 栄淳
	19 沖縄県保護司会連合会会長	沖縄県保護司会連合会会長	兼次 政福
	20 沖縄県青年団協議会会長	沖縄県青年団協議会会長	普天間 真也
	21 一般社団法人沖縄県PTA連合会会長	一般社団法人沖縄県PTA連合会会長	岸本 洋平
	22 沖縄県高等学校PTA連合会会長	沖縄県高等学校PTA連合会会長	杉本 龍
	23 公益社団法人沖縄被害者支援ゆいセンター理事長	公益社団法人沖縄被害者支援ゆいセンター理事長	奥平 登美子
	24 沖縄県少年補導員会連絡協議会会長	沖縄県少年補導員会連絡協議会会長	神谷 厚男
	25 沖縄県自主防犯ボランティア団体連絡協議会会長	沖縄県自主防犯ボランティア団体連絡協議会会長	仲本 勝之
	26 公益社団法人日本青年会議所沖縄地区協議会会長	公益社団法人日本青年会議所沖縄地区協議会会長	具志堅 貴昭
	27 沖縄県中小企業家同友会代表理事	沖縄県中小企業家同友会代表理事	宮城 光秀
	28 沖縄県店舗対象犯罪防止連絡協議会会長	沖縄県店舗対象犯罪防止連絡協議会会長	高江洲 利樹
	29 一般社団法人沖縄県警備業協会会長	一般社団法人沖縄県警備業協会専務理事	金城 和郎
	30 那覇地区安全なまちづくり推進協議会会長	那覇市市民生活安全課長	武元 清一
	31 豊見城地区安全なまちづくり推進協議会会長	豊見城市協働のまち推進課長	喜久里 則子
	32 宜野湾地区安全なまちづくり推進協議会会長	宜野湾地区安全なまちづくり推進協議会会長	浜田 京介
	33 沖縄地区安全なまちづくり推進協議会会長	沖縄市市民部次長	宮城 光秀
	34 うるま地区安全なまちづくり推進協議会会長	うるま市市民生活部長	松岡 秀光
	35 名護地区安全なまちづくり推進協議会会長	名護市総務部長	仲本 太
	36 本部地区安全なまちづくり推進協議会会長	本部地区安全なまちづくり推進協議会会長	久田 浩也